

2022 年度
(第 8 期)
事 業 報 告 書

自 2022 年 1 月 1 日
至 2022 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2022年度（第8期）事業報告書

1. 事業の概況

当財団は、医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

わが国の総人口は、2008年をピークに減少局面を迎え、2060年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率（65歳以上人口が総人口に占める割合）は40%近い水準となると推計されております。

既に到来している超高齢社会、人生100年時代、その中で国民の皆が生き生きと活躍し、安心して暮らしていくためには、健康が維持されていること、活躍の場（生き甲斐）があることの両者が重要とされ、地域医療・福祉の振興の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の維持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらには地域共生社会の実現にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当財団は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公1）

助成・褒賞事業では、定款第4条第1項第1号に定める「地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第11回杉浦助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な研究や活動の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間：2022年1月1日から同年2月28日まで 応募数：87件（研究分野54件、活動分野33件） 助成授与数：15件（研究分野8件、活動分野7件） 助成額：総額10,000,000円 （研究分野7,300,000円、活動分野2,700,000円）
授与式等	2022年7月14日に帝国ホテル東京で、第11回杉浦助成の授与式を開催いたしました。また、第11回杉浦助成の内容、第10回杉浦助成の成果報告を当財団ホームページに公表いたしました。

B. 第 11 回杉浦賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間 : 2021年10月1日から同年12月31日まで 応募数 : 39編 褒賞授与数 : 3編 褒賞内容 : 表彰盾及び副賞 2,000,000円(総額 6,000,000円)
授与式	2022年7月14日に帝国ホテル東京で、第11回杉浦賞の授与式を開催いたしました。また、第11回杉浦賞の内容を当財団ホームページに公表いたしました。

第11回杉浦助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
委員	安藤 明夫	前 中日新聞編集委員(医療担当)
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 病院長
委員	岡田 啓	元 愛知医科大学 教授 薬剤部長/ 株式会社スギ薬局 D I 室
委員	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 /公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
委員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授/ 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
委員	藤田 あゆみ	株式会社スギ薬局 人材開発部
委員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者

(注) 五十音順で記載しております。

第11回杉浦賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長/ 日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授/ 東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授/ 一般社団法人日本応用老年学会 会長
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
委員	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	28,129	28,129
その他雑収益	0	28,129	28,129
経常収益計	0	28,129	28,129
(2) 経常費用			
事業費	28,627,200	26,829,991	△1,797,209
消耗品費	10,000	13,055	3,055
印刷製本費	3,740,000	2,977,055	△762,945
その他	3,740,000	2,977,055	△762,945
諸謝金	2,400,000	1,000,000	△1,400,000
選考委員謝礼	1,400,000	1,000,000	△400,000
その他	1,000,000	0	△1,000,000
支払手数料	22,500	22,800	300
その他	22,500	22,800	300
租税公課	927,700	741,356	△186,344
給料手当	0	1,637,641	1,637,641
支払助成金	10,000,000	10,000,000	0
支払褒賞金	6,000,000	6,000,000	0
広告宣伝費	76,000	32,950	△43,050
会議費	3,806,000	3,363,210	△442,790
助成・褒賞贈呈式会議費用	3,806,000	3,360,486	△445,514
その他	0	2,724	2,724
旅費交通費	1,405,000	722,645	△682,355
選考委員旅費交通費	155,000	81,141	△73,859
贈呈式参加者旅費交通費	1,000,000	419,766	△580,234
その他	250,000	221,738	△28,262
通信運搬費	240,000	319,279	79,279
経常費用計	28,627,200	26,829,991	△1,797,209
評価損益等調整前当期経常増減額	△28,627,200	△26,801,862	1,825,338
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△28,627,200	△26,801,862	1,825,338

経常収益は3万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものです。

また、経常費用は2,683万円で、予算比△180万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- コロナ禍明けを想定し、延期となっていた授与式での設立10周年記念講演のゲスト招聘、食事の提供、前年度助成授与対象者の参加に係る諸謝金、会議費、旅費交通費を予算計上していたものの、状況を勘案し実施を見送ったこと（△203万円）
- 授与式等の映像制作の効率化により、印刷製本費を削減できたこと（△76万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより給料手当を計上したこと（+164万円）

(2) 調査・研究事業 (公2)

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は4回開催（いずれもオンライン形態）いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第4期：地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～】

	開催日	テーマ／講師
第13回	2022年 3月17日 (木)	2040年の医療・介護～コロナ禍から見えてきたもの～／香取 照幸（上智大学 総合人間科学部 教授／一般社団法人未来研究所臥龍 代表理事）
第14回	2022年 7月7日 (木)	地域を一つの大きな家族に～リアルとメタバースからみた都市型医療福祉の未来像～／菅原 健介（株式会社ぐるんとびー 代表取締役）、川島 勇我（株式会社ぐるんとびー デザイナー）
第15回	2022年 9月8日 (木)	相双地域における近隣社会の変化と介護/福祉/医療—精神科医の立場から／中澤 正夫（医療法人財団東京勤労者医療会 代々木病院 精神科医）
第16回	2022年 11月10日 (木)	医療的ケアが必要な子どもの地域包括ケアシステムの課題と養育者の現状／宮崎 つた子（三重県立看護大学 看護学部 小児看護学 教授）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 総合施設長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事／元 愛知県高浜市長

役名	氏名	所属・役職
会 員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授
会 員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会 員	粟田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 副所長 認知症未来社会創造センター センター長
会 員	石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 教授
会 員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室室長 リハビリステーション部 部長
会 員	伊藤 善典	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 大学院保健医療福祉学研究科 教授
会 員	上田 恵子	公益財団法人さわやか福祉財団
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	岡田 太造	一般財団法人日本民間公益活動連携機構 理事／元厚生労働省 社会・援護局長
会 員	岡本 茂雄	ノバケア株式会社 代表取締役
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会 員	小玉 剛	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーションみけ 所長
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	清水 まや	医療法人社団仁牧会 大森牧田クリニック 事務長
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括支援センター センター長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション 管理者
会 員	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	竹林 洋一	静岡大学 創造科学技術大学院 特任教授
会 員	都築 真哉	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか福祉財団 理事
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
会 員	野中 久美子	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 北事務所
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター 西尾 センター長
会 員	藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健健康チーム チームリーダー・研究部長
会 員	舩木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	古都 賢一	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長
会 員	山下 和彦	東都大学 幕張ヒューマンケア学部 教授
会 員	山下 知子	了徳寺大学 健康科学部 看護学科 講師
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 こぶし 24 時間ケアサービスステーション リーダー
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
オブザーバー	込山 愛郎	独立行政法人医薬品医療機器総合機構 理事長特任補/元 厚生労働省 医薬・生活衛生局 総務課長
オブザーバー	濱谷 浩樹	厚生労働省 保険局長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	3,932,940	4,665,101	732,161
印刷製本費	2,900,000	2,900,000	0
その他	2,900,000	2,900,000	0
諸謝金	660,000	440,000	△220,000
セミナー講師謝礼	480,000	320,000	△160,000
その他	180,000	120,000	△60,000
租税公課	297,540	310,226	12,686
給料手当	0	807,528	807,528
会議費	9,600	24,527	14,927
研究会会議費	9,600	23,627	14,027
その他	0	900	900
旅費交通費	49,800	175,162	125,362
研究会会員旅費交通費	49,800	59,212	9,412
その他	0	115,950	115,950
通信運搬費	16,000	7,658	△8,342
経常費用計	3,932,940	4,665,101	732,161
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,932,940	△4,665,101	△732,161
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,932,940	△4,665,101	△732,161

経常費用は 467 万円で、予算比 +73 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 研究会を 6 回開催予定のところ、4 回となったことにより、諸謝金が予算を下回ったこと（△22 万円）
- 職員の旅費を予算計上していなかったこと（+12 万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより給料手当を計上したこと（+81 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は6回開催（12月は対面・オンライン併用形態、その他はオンライン形態）いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第41回	2022年 2月9日 (水)	食事・運動などの生活習慣改善による循環器疾患対策／ 湊口 信也（岐阜市民病院 心不全センター長／岐阜大学医学部附属病院 第二内科 循環呼吸先端医学講座 特任教授／岐阜大学 名誉教授）
第42回	2022年 4月13日 (水)	小児在宅医療における調剤薬局の役割／ 水野 美穂子（社会医療法人宏潤会 大同病院 大同こども総合医療センター）
第43回	2022年 6月8日 (水)	残薬を管理することが、医薬品の安全適正使用への近道！ ／ 福井 繁雄（一般社団法人 Life Happy Well 顧問）
第44回	2022年 8月10日 (水)	地域で考える薬剤適正使用に向けた宝塚市の取り組み／ 琢磨 寛孝（一般社団法人宝塚市薬剤師会 理事）
第45回	2022年 10月12日 (水)	高齢者糖尿病の薬物療法について～多職種協働の視点を踏まえて～／末松 三奈（名古屋大学 大学院医学系研究科 地域医療教育学寄附講座 特任講師）
第46回	2022年 12月14日 (水)	薬剤総合評価調整加算/薬剤調整加算～光と影～／ 水野 智博（藤田医科大学 医学部 臨床薬剤科 准教授）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 教授（老年病学・加齢医学）
副座長	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部 門・臨床薬学部 臨床栄養代謝学部 客員教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 病院准教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 未来ビジョン研究センター 教授
会員	五十嵐 中	横浜市立大学 大学院データサイエンス研究科 ヘルズデータサイエンス専攻 准教授
会員	石崎 達郎	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム チームリーダー・研究部長
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 教授

役名	氏名	所属・役職
会 員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長 教授
会 員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所 研究事務室 室長（薬学 博士）
会 員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創 造機構）代表理事
会 員	岡崎 光洋	一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪医科薬科大学 薬学部 社会薬学・薬局管理学研 究室 教授
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部 学部長 教授
会 員	川添 哲嗣	高知大学医学部附属病院 薬剤部
会 員	岸本 桂子	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 教授
会 員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 講師
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 特別顧問
会 員	柴田 ゆうか	広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院 長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
会 員	成井 浩二	東京薬科大学 薬学部 医療薬学科 一般用医薬品学 教室 准教授
会 員	浜田 将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療 経済研究機構 研究部 主席研究員
会 員	伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長／愛知 医科大学 医学教育センター 特命教育教授
会 員	平井 みどり	神戸大学 名誉教授／ 京都大学 大学院医学研究科 特任教授
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應 義塾大学薬学部K P会 監事
会 員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 ／国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特 任研究員
会 員	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者

役名	氏名	所属・役職
会員	舛本 祥一	筑波大学附属病院 地域総合診療医学 講師
会員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおぼの里
会員	水上 勝義	筑波大学 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム 博士前期・後期課程 教授
会員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部（日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師）
会員	八木原 栄	東京都立府中療育センター 薬剤科 薬剤科長
会員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授
会員	山中 崇	東京大学 大学院医学系研究科 在宅医療学講座 特任准教授
会員	吉尾 隆	一般社団法人 日本精神薬学会 理事長
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社 科学医療部 編集委員
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社 科学医療部 記者
オブザーバー	根本 英一	株式会社南山堂 「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	野出 典子	株式会社ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部 看護職員
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
オブザーバー	吉田 学	厚生労働事務次官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	679,800	1,545,798	865,998
諸謝金	660,000	660,000	0
セミナー講師謝礼	480,000	480,000	0
その他	180,000	180,000	0
租税公課	1,800	6,946	5,146
給料手当	0	807,528	807,528
会議費	0	30,737	30,737
研究会会議費	0	30,737	30,737
旅費交通費	18,000	40,587	22,587
研究会会員旅費交通費	18,000	30,658	12,658
その他	0	9,929	9,929
経常費用計	679,800	1,545,798	865,998
評価損益等調整前当期経常増減額	△679,800	△1,545,798	△865,998
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△679,800	△1,545,798	△865,998

経常費用は 155 万円で、予算比+87 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 12 月に対面・オンライン併用形態で開催したことにより、会議費、旅費交通費が予算を超過したこと（+5 万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより給料手当を計上したこと（+81 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、「これから生まれてくる人のために 2060 年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するために、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究し、当事業年度は 3 回（いずれも対面・オンライン併用形態）開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

開催日	テーマ
2022 年 1 月 21 日 (金)	3 年間の研究成果報告の骨子検討（第 1 回） 各メンバーから以下につき発表後、意見交換 1. これまで 3 年間の研究会で学んだことの中で、「同世代の皆さんにも伝えたい」と思ったこと 2. 「未来」のために同世代に向けて提案したいこと（1 を考慮してもしなくてもいい） 3. 2 の提案を裏付けるような自分の身の回りで起きている「未来を先取りした事例」（今の常識からは逸脱しているが、今後、10 年、20 年先を考えると常識化する可能性のある現象）
2022 年 2 月 18 日 (金)	3 年間の研究成果報告の骨子検討（第 2 回） 前回の意見交換を踏まえ、各メンバーから再度発表後、意見交換
2022 年 3 月 25 日 (金)	3 年間の研究成果報告冊子の構成・内容の検討 冊子構成、各メンバーの報告内容の確認、意見交換

また、次世代メンバーによる 3 年間の研究成果を発表するため、2022 年 6 月に「長生きを喜べるまちをつくるために～未来の生き方改革～」(<https://sugi-zaidan.jp/pdf/20220930nagaiki.pdf>) を発行し、累計で冊子約 3,900 部無償配布、当財団ホームページに掲載するとともに、2022 年 10 月 2 日に日本ガイシフォーラム(名古屋市南区)で「第 5 回長生きを喜べるまちづくりシンポジウム」を開催いたしました。

なお、次年度からは、「未来へ広がる芽生えづくり」にテーマを変え、現役世代（30、40 代）が有識者と共に持続的かつ自律的なまちづくりを広く社会に浸透させるための芽生えとなる施策を追究していきます。

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
会員	青山 幸一	豊根村 農林土木課長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会 (NPO ふくりび) 事務局長
会員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター (医学博士・理学療法士)
会員	西岡 麻知子	南医療生活協同組合 常勤理事／南生協病院 医局事務局長
会員	長谷川 友紀	コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事
会員	日渡 健介	一般社団法人未来医療研究機構
会員	三矢 勝司	特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事業推進マネージャー
会員	若杉 玲子	長久手市 市長公室次長 兼 秘書課長
アドバイザー	後 房雄	愛知大学 地域政策学部 地域政策学科 教授／名古屋大学 名誉教授
アドバイザー	大貫 徹	国際ファッション専門職大学 教授／名古屋工業大学 名誉教授
アドバイザー	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
オブザーバー	石田 芳弘	至学館大学 コミュニケーション研究所 所長／元 愛知県犬山市長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員
オブザーバー	北川 薫	梅村学園 学事顧問／元 中京大学 学長／梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議 議長
オブザーバー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事／元 愛知県高浜市長
オブザーバー	安井 俊夫	専門学校愛知保健看護大学 校長／元 愛知県教育長
オブザーバー	山本 保	元 参議院議員・総務大臣政務官／元 厚生省児童福祉専門官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 C）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,203,820	6,133,969	△69,851
印刷製本費	1,930,000	3,177,930	1,247,930
その他	1,930,000	3,177,930	1,247,930
諸謝金	1,720,000	300,000	△1,420,000
セミナー講師謝礼	1,000,000	0	△1,000,000
その他	720,000	300,000	△420,000
支払手数料	24,200	346	△23,854
その他	24,200	346	△23,854
租税公課	407,620	441,121	33,501
給料手当	0	807,528	807,528
広告宣伝費	300,000	0	△300,000
会議費	1,048,000	795,798	△252,202
研究会会議費	48,000	196,963	148,963
セミナー会議費用	1,000,000	463,378	△536,622
その他	0	135,457	135,457
旅費交通費	659,000	544,602	△114,398
研究会会員旅費交通費	657,000	535,793	△121,207
その他	2,000	8,809	6,809
通信運搬費	115,000	66,644	△48,356
経常費用計	6,203,820	6,133,969	△69,851
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,203,820	△6,133,969	69,851
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,203,820	△6,133,969	69,851

経常費用は 613 万円で、予算比△7 万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 主に報告集制作に係る印刷製本費の予算計上が過少であったこと（+125 万円）
- シンポジウムでのゲスト講演が所属会社での勤務として実施されたこと等により、諸謝金が抑えられたこと（△142 万円）
- 新聞広告に代えて、アプリを活用したシンポジウムの実施告知、参加申込受付を行ったことにより、広告宣伝費が計上されなかったこと（△30 万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより給料手当を計上したこと（+81 万円）

【ご参考】

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業A・B・C合計）

科 目	調査・研究事業A		調査・研究事業B		調査・研究事業C		合 計		差 異
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計									
(2) 経常費用									
事業費	3,932,940	4,665,101	679,800	1,545,798	6,203,820	6,133,969	10,816,560	12,344,868	1,528,308
印刷製本費	2,900,000	2,900,000	0	0	1,930,000	3,177,930	4,830,000	6,077,930	1,247,930
その他	2,900,000	2,900,000	0	0	1,930,000	3,177,930	4,830,000	6,077,930	1,247,930
諸謝金	660,000	440,000	660,000	660,000	1,720,000	300,000	3,040,000	1,400,000	△1,640,000
セミナー講師謝礼	480,000	320,000	480,000	480,000	1,000,000	0	1,960,000	800,000	△1,160,000
その他	180,000	120,000	180,000	180,000	720,000	300,000	1,080,000	600,000	△480,000
支払手数料	0	0	0	0	24,200	346	24,200	346	△23,854
その他	0	0	0	0	24,200	346	24,200	346	△23,854
租税公課	297,540	310,226	1,800	6,946	407,620	441,121	706,960	758,293	51,333
給料手当	0	807,528	0	807,528	0	807,528	300,000	0	2,422,584
広告宣伝費	0	0	0	0	300,000	0	300,000	0	△300,000
会議費	9,600	24,527	0	30,737	1,048,000	795,798	1,057,600	851,062	△206,538
研究会会議費	9,600	23,627	0	30,737	48,000	196,963	57,600	251,327	193,727
セミナー会議費用	0	0	0	0	1,000,000	463,378	1,000,000	463,378	△536,622
その他	0	900	0	0	0	135,457	0	136,357	136,357
旅費交通費	49,800	175,162	18,000	40,587	659,000	544,602	726,800	760,351	33,551
研究会会員旅費交通費	49,800	59,212	18,000	30,658	657,000	535,793	724,800	625,663	△99,137
その他	0	115,950	0	9,929	2,000	8,809	2,000	134,688	132,688
通信運搬費	16,000	7,658	0	0	115,000	66,644	131,000	74,302	△56,698
経常費用計	3,932,940	4,665,101	679,800	1,545,798	6,203,820	6,133,969	10,816,560	12,344,868	1,528,308
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,932,940	△4,665,101	△679,800	△1,545,798	△6,203,820	△6,133,969	△10,816,560	△12,344,868	△1,528,308
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△3,932,940	△4,665,101	△679,800	△1,545,798	△6,203,820	△6,133,969	△10,816,560	△12,344,868	△1,528,308

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般の方を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、年老いても、健やかに暮らしていくのに役立つ講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しており、当事業年度は5会場（埼玉県川口市・愛知県大府市・大阪府大阪市淀川区・大阪府大阪市城東区・石川県金沢市）のオンライン中継で3回開催いたしました。

概要は、以下のとおりです。

開催日	テーマ／講師	参加人数
2022年 2月20日 (日)	腸内細菌と日本食：認知症との深い関係／佐治 直樹（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター 副センター長） セルフメディケーションのコツ／蓮実 豊（株式会社スギ薬局D I室・御油店 薬剤師・糖尿病療養指導士）	298名
2022年 5月29日 (日)	コロナに負けず「人生100年」を幸せに生きる／ 鎌田 實（諏訪中央病院 名誉院長／地域包括ケア研究所 所長／「がんばらない介護生活を考える会」代表） 年代別のダイエット／ 味岡 一輝（株式会社スギ薬局 人材開発部 医療教育課 管理栄養士／藤田医科大学 大学院保健学研究科）	602名
2022年 10月16日 (日)	気をつけたい、多すぎる薬と副作用／ 秋下 雅弘（東京大学 大学院医学系研究科 教授（老年病学・加齢医学）） 薬と上手に付き合おう かぜの薬・胃の薬・腸の薬を中心に／神保 美紗子（株式会社スギ薬局 D I室／名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床准教授）	663名

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,978,000	3,022,474	1,044,474
消耗品費	0	14,000	14,000
印刷製本費	980,000	1,044,479	64,479
その他	980,000	1,044,479	64,479
諸謝金	320,000	160,000	△160,000
セミナー講師謝礼	320,000	160,000	△160,000
租税公課	46,800	127,617	80,817
給料手当	0	1,015,057	1,015,057
会議費	0	1,852	1,852
セミナー会議費用	0	1,852	1,852
旅費交通費	188,000	50,456	△137,544
セミナー講師旅費交通費	28,000	7,672	△20,328
その他	160,000	42,784	△117,216
通信運搬費	0	165,813	165,813
減価償却費	443,200	443,200	0
経常費用計	1,978,000	3,022,474	1,044,474
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,978,000	△3,022,474	△1,044,474
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,978,000	△3,022,474	△1,044,474

経常費用は302万円で、予算比+104万円となりました。主な差異は、以下のとおりです。

- 健康増進セミナーを4回開催予定のところ、3回開催となったことにより、諸謝金、旅費交通費が予算を下回ったこと（△30万円）
- 郵送料を用途に応じて各事業に配分したことにより通信運搬費を計上したこと（+17万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより給料手当を計上したこと（+102万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業」として、「地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修」を実施いたしました。

当該研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は160講座（前年度158講座）、登録受講者数は8,140名（前年度4,724名）です。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	8,909,600	11,326,216	2,416,616
研修事業会費	8,909,600	11,326,216	2,416,616
経常収益計	8,909,600	11,326,216	2,416,616
(2) 経常費用			
事業費	9,014,940	11,493,994	2,479,054
印刷製本費	2,400,000	2,331,600	△68,400
教材撮影編集費	2,400,000	2,303,600	△96,400
その他	0	28,000	28,000
諸謝金	950,000	550,000	△400,000
セミナー講師謝礼	950,000	550,000	△400,000
支払手数料	4,061,000	4,464,828	403,828
ID管理費	2,118,000	2,445,000	327,000
日本薬剤師研修センター認定費	595,000	92,000	△503,000
その他	1,348,000	1,927,828	579,828
租税公課	△4,060	△184,068	△180,008
給料手当	0	2,756,789	2,756,789
広告宣伝費	40,000	78,000	38,000
旅費交通費	168,000	303,754	135,754
セミナー講師旅費交通費	48,000	23,829	△24,171
その他	120,000	279,925	159,925
通信運搬費	900,000	637,591	△262,409
減価償却費	500,000	555,500	55,500
経常費用計	9,014,940	11,493,994	2,479,054
評価損益等調整前当期経常増減額	△105,340	△167,778	△62,438
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△105,340	△167,778	△62,438

経常収益は1,133万円で、予算比+242万円となりました。

また、経常費用は1,149万円で、予算比+248万円となりました。当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより、給料手当が予算比+276万円となりました。

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	11,172,338	11,172,338	0
基本財産受取利息	46,338	46,338	0
基本財産受取配当金	11,126,000	11,126,000	0
受取寄付金	33,792,762	26,204,316	△7,588,446
受取寄付金	33,792,762	26,204,316	△7,588,446
経常収益計	44,965,100	37,376,654	△7,588,446
(2) 経常費用			
事業費	3,438,000	170,996	△3,267,004
支払手数料	180,000	155,455	△24,545
その他	180,000	155,455	△24,545
租税公課	18,000	15,541	△2,459
給料手当	3,240,000	0	△3,240,000
経常費用計	3,438,000	170,996	△3,267,004
評価損益等調整前当期経常増減額	41,527,100	37,205,658	△4,321,442
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	41,527,100	37,205,658	△4,321,442

経常収益は、3,738 万円で、予算比△759 万円となりました。以下のとおり当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額を算出した結果、受取寄付金が予算比△759 万円となりました。

当年度の一般寄附金総額	(a)	46,850,000
当年度の公益目的事業会計の事業費計上額	(b)	53,862,323
当年度の公益目的事業会計の経常収益計上額 (受取寄付金以外)	(c)	22,526,683
前年度の公益目的事業会計の余剰金	(d)	5,131,324
当年度の公益事業共通への受取寄付金計上額	(e) : (b) - (c) - (d)	26,204,316
当年度の一般事業への受取寄付金計上額	(a) - (e)	20,645,684

また、経常費用は 17 万円で、予算比△327 万円となりました。当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分した（公益事業共通には配分されなかった）ことにより、給料手当が予算比△324 万円となりました。

(6) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000,000	4,000,000	0
基本財産受取配当金	4,000,000	4,000,000	0
受取寄付金	17,207,238	20,645,684	3,438,446
受取寄付金	17,207,238	20,645,684	3,438,446
雑収益	46,338	184,625	138,287
受取利息	46,338	46,646	308
その他雑収益	0	137,979	137,979
経常収益計	21,253,576	24,830,309	3,576,733
(2) 経常費用			0
管理費	28,162,940	22,146,370	△6,016,570
役員等報酬	2,950,000	2,550,000	△400,000
評議員報酬	1,200,000	1,100,000	△100,000
理事報酬	1,350,000	1,050,000	△300,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	31,744	△8,256
印刷製本費	1,442,000	2,028,911	586,911
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	1,172,160	1,121,759	△50,401
租税公課	658,040	574,261	△83,779
給料手当	7,020,000	2,264,306	△4,755,694
支払寄付金	10,405,000	10,200,000	△205,000
広告宣伝費	1,200,000	1,200,000	0
ホームページ関連費用	1,200,000	1,200,000	0
会議費	330,000	384,852	54,852
旅費交通費	596,000	218,506	△377,494
評議員旅費交通費	200,000	60,182	△139,818
理事旅費交通費	280,000	103,366	△176,634
監事旅費交通費	66,000	53,746	△12,254
職員旅費交通費	50,000	1,212	△48,788
通信運搬費	1,020,240	309,331	△710,909
電話料	102,000	95,521	△6,479
その他	918,240	213,810	△704,430
減価償却費	549,500	554,000	4,500
雑費	600,000	528,700	△71,300
その他	600,000	528,700	△71,300
経常費用計	28,162,940	22,146,370	△6,016,570
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,909,364	2,683,939	9,593,303
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,909,364	2,683,939	9,593,303

経常収益は、2,483万円で、予算比+358万円となりました。

また、経常費用は2,215万円で、予算比△602万円となりました。主な差異

は以下のとおりです。

- 郵送料を用途に応じて各事業に配分したことにより、一般事業の通信運搬費計上額が減少したこと（△70万円）
- 当年度から、職員の人件費を各事業の業務負荷に応じて配分したことにより、一般事業の給料手当計上額が減少したこと（△476万円）

2022年度（第8期）寄附金受入状況

当事業年度の寄附金の受入状況は、以下のとおりです。

- 総件数 563 件
うち法人から 272 件、うち個人から 291 件
- 総 額 46,850,000 円
うち法人から 38,750,000 円、うち個人から 8,100,000 円

なお、寄附金取扱規程に基づき、受取寄付金として公益事業共通に 26,204,316 円を、一般事業に 20,645,684 円をそれぞれ計上しております。

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書 2～3 頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 7,356 万円（前年度比△496 万円）に対し、経常費用は、事業費 5,386 万円（前年度比+1,124 万円）、管理費 2,215 万円（前年度比+479 万円）、合計 7,601 万円（前年度比+1,603 万円）でした。当期経常増減額は△245 万円（前年度比△2,099 万円）となり、経常外増減がありませんでしたので、当期一般正味財産増減額も 245 万円（前年度比△2,099 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 4,394 万円から△245 万円の 4,150 万円となりました。

指定正味財産増減の部では増減がありませんでしたので、指定正味財産期末残高は期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 208 億 8,941 万円（前年度比△245 万円）となりました。

なお、決算報告書 3 頁に記載の管理費の支払寄付金が前年度比+980 万円となっていますが、これは日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」に対し 1,000 万円を拠出したためです。

正味財産増減計算書の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	73,561,308	78,523,401	△4,962,093
(2) 経常費用			
事業費	53,862,323	42,625,772	11,236,551
管理費	22,146,370	17,351,922	4,794,448
経常費用計	76,008,693	59,977,694	16,030,999
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,447,385	18,545,707	△20,993,092
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,447,385	18,545,707	△20,993,092
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,447,385	18,545,707	△20,993,092
一般正味財産期首残高	43,944,879	25,399,172	18,545,707
一般正味財産期末残高	41,497,494	43,944,879	△2,447,385
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,889,407,866	20,891,855,251	△2,447,385

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、前年度比△92 万円の 3,655 万円となり、主な要因は、現金預金が前年度比+105 万円となった一方で、前年度に計上されていた前払金 207 万円が経費化したことにあります。

固定資産は、前年度比+11 万円の 208 億 6,150 万円となり、要因は、ソフトウェア (インターネット研修システム PECS 対応改修) の増加額が 167 万円、償却による減少額が 156 万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比△81 万円の 208 億 9,805 万円となりました。

流動負債は、前年度比+164 万円の 864 万円となり、その主因は、前受金 (インターネット研修会費) が前年度比+130 万円となったことにあります。固定負債に該当するものがないため、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 8 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	35,397,141	34,343,274	1,053,867
前払金	431,495	2,407,295	△1,975,800
その他の流動資産	719,929	716,792	3,137
流動資産合計	36,548,565	37,467,361	△918,796
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,978,979	20,847,982,641	△3,662
基本財産合計	20,847,978,979	20,847,982,641	△3,662
(3) その他固定資産			
什器備品	332,401	775,601	△443,200
ソフトウェア	3,121,084	2,560,584	560,500
投資有価証券	10,068,607	10,072,269	△3,662
その他固定資産合計	13,522,092	13,408,454	113,638
固定資産合計	20,861,501,071	20,861,391,095	109,976
資産合計	20,898,049,636	20,898,858,456	△808,820
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,137,172	2,802,746	334,426
前受金	5,488,262	4,186,165	1,302,097
預り金	16,336	14,294	2,042
流動負債合計	8,641,770	7,003,205	1,638,565
負債合計	8,641,770	7,003,205	1,638,565
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	20,847,910,372	20,847,910,372	0
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産	41,497,494	43,944,879	△2,447,385
(うち基本財産への充当額)	68,607	72,269	△3,662
正味財産合計	20,889,407,866	20,891,855,251	△2,447,385
負債及び正味財産合計	20,898,049,636	20,898,858,456	△808,820

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62番地の1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2022年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役
副理事長	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役 事業本部長
理事	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 教授 (老年病学・加齢医学)
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事
	鍋島 俊隆	藤田医科大学 客員教授／特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 理事長／アレクサンドル・イワン・クザ大学 (ルーマニア) 名誉教授／名古屋大学 名誉教授
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長
	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長
	堀 美智子	医薬情報研究所 株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者
	山村 恵子	藤田医科大学 医療科学部 先進診断システム探索部門 高度薬学情報管理学 教授
監事	加藤 克彦	加藤克彦公認会計士税理士事務所 所長
	神谷 誠	公認会計士税理士神谷誠事務所 所長 スギホールディングス株式会社 社外監査役

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2022年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 顧問
評 議 員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	上野 桂子	元 一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長(現 顧問)
	木村 隆次	一般社団法人青森県薬剤師会 会長／公益社団法人青森県介護支援専門員協会 会長
	葛谷 雅文	名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院 院長
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門・臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 客員教授
	白澤 政和	国際医療福祉大学 大学院 教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
	高橋 紘士	東京通信大学 名誉教授
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター 客員研究員
	水流 聡子	東京大学総括プロジェクト機構「QualityとHealthを基盤におくサービスエクセレンス社会システム工学」総括寄付講座／東京大学 大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長(現 顧問)
伴 信太郎	中津川市地域総合医療センター センター長／愛知医科大学 医学教育センター 特命教育教授	

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2022年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	2名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2022年2月23日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2021年度（第7期）事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第7回定時評議員会招集の件
2022年3月10日 理事会	【決議事項】 ・第11回杉浦地域医療振興賞承認の件
2022年3月24日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2022年度（第8期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2022年4月27日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第11回杉浦地域医療振興助成実施の件
2022年7月14日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2022年12月8日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2023年度（第9期）事業計画書及び収支予算書承認の件 ・規程・規則の制定・変更の件 ・第12回杉浦地域医療振興賞審査委員及び諮問委員並びに第12回杉浦地域医療振興助成選考委員選任の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2022年3月10日 第7回定時評議員会	【報告事項】 ・2021年度（第7期）事業報告書報告の件 【決議事項】 ・2021年度（第7期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・理事3名選任の件
2022年3月24日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2022年度（第8期）事業計画書及び収支予算書補正の件
2022年12月22日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2023年度（第9期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

2022 年度（第 8 期）事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項の規定に基づいて記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

2023 年 2 月

公益財団法人杉浦記念財団